

# 令和5年度 東台小学校 キャリア教育 実施報告

## 『自らの将来を考える！～横浜市の交通を考える仕事の視点から～』

### 1 キャリア教育の概要

- 横浜市立東台小学校の6年生は、自らの将来を考える授業を行っており、その一環として、「横浜市役所の仕事～横浜市の交通を考える仕事～」をテーマとする出前授業を実施しました。
- 都市整備局の公共交通に関する仕事を例に、自らの将来を考えるきっかけとすることが今回のねらいです。

### 2 「横浜市交通分野で働く人のお仕事」の講話

- 授業では、パワーポイントを活用し、職員が児童と同じ年齢の頃興味を持っていた仕事や、学生時代に勉強したこと、市役所で働こうと思った経緯などに触れ、自身の将来のことを考える大切さを伝えました。
- 都市整備局の仕事の説明を通し、公共交通を取り巻く環境や交通事業者の現状を知り、様々な移動手段がある中で、それぞれの良い点・あまり良くない点を理解し、目的や行き先に応じて公共交通をかしこく使う、「モビリティマネジメント」の考え方の重要性についても伝えました。
- 上記のモビリティマネジメントの取組も例にして、公務員の仕事を具体的に説明し、横浜市役所の職員としての仕事のやりがいなどについても話をしました。

### 3 キャリア教育を終えて

- 様々な仕事がありますが、その多くは一人だけではできず、皆で協力する必要があるということをお伝えしました。
- すでに将来について具体的に考えることができおり、働く場所や休日の過ごし方などを質問する児童もいました。公務員に限らず、児童たちが、様々な仕事を知り、可能性を広げていく一助となれば良いと思っています。

#### ■キャリア教育について

- 【日時】 令和5年9月28日(木)  
2～3校時 9:35～11:35
- 【対象】 東台小学校 6年生(160人)
- 【目的】 講話を通じ自分の将来や就きたい職業について考えるきっかけとする。
- 【内容】 説明用パワーポイントを用いた講話
- ▼主なテーマ
- ・市役所の仕事、都市交通課の仕事
  - ・モビリティマネジメントについて
  - ・具体的な業務の流れや心がけ
- …など

#### ■講話に用いた説明用パワーポイント

都市整備局では・・・

『まちづくり』を行っています。

人が集まり、賑わいのあるまち

他のまちに負けない魅力あるまち

人にも、自然にもやさしい

みんなが移動しやすいまち

横浜市の交通について

横浜市内の人が移動手段として選ぶのは、徒歩が最も多く、次いで自転車、バス、そしてクルマです。

徒歩 35%

自転車 23%

バス 15%

クルマ 27%

クルマは全体の23%

クルマ利用は1日214万回

だんだん利用が減ってきたバス

市内を走るバスの1日乗車人員

市内を走る電車の1日乗車人員

2019年に比べて減少しています

2023年に比べて

モビリティマネジメント

マイカーに頼りすぎるのではなく、渋滞・環境・健康のことを考えて、バスや鉄道などの公共交通や、自転車など、色々な移動手段を知って、かしこく使おう！という働き。

#### ■授業の様子

